

## 堺市指定管理者評価表

( 評価対象期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで )

## 1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立のびやか健康館	
(2) 施設の設置目的	
市民に運動をする場及びやすらぎの場を提供し、もって市民の心身の健康増進を図るとともに、市民の豊かな生活の向上に資するため	
(3) 所管部局	
環境局 環境事業部 環境事業管理課	
(4) 指定管理者名	
株式会社COSPAウエルネス(令和4年7月から株式会社オージースポーツより社名変更)	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ スポーツ施設・温浴施設の管理・運営</li><li>・ スポーツ教室の経営</li><li>・ スポーツ用具・用品の販売及びレンタル</li><li>・ 上記に附带又は関連する一切の業務</li></ul>	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
「NASなかもず」、「エニタイムフィットネス近隣9店舗」「美原総合スポーツセンター」、「コスパ近隣2店舗」、「JOYFIT24近隣2店舗」、「1STARイオンそよら新金岡店内」等	

## 2 管理運営状況

## (1) 適正な管理運営の確保

## ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	コロナ禍の影響を受けていたことにより3年ぶりに年間を通して通常の営業を行い、テーマごとの研修もミーティング時に実施できた。特に安全研修ではCPRの実技を中心に行い、個人情報の研修においては、基礎研修後、スタッフ全員で作業手順の見直しを実施し、情報を扱う頻度を減らす手順の考案により、リスクの低減を図った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・人員配置は、協定書の体制を維持し、時間帯(高齢者が多い)に合わせて、スタッフの配置を変えるなど工夫を行った。 ・施設の維持管理では、清掃スタッフにも協力いただき、故障発見、対応を行い、設備担当者との維持管理についての意思疎通を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	カルチャー教室として、大人体育教室、フットサル、ヨガ、子供ではダンス、バレエなどの教室を実施し、高齢者から子どもまで、いろいろなスポーツを経験できる場となるよう努めた。また、アスマイルイベントとして転倒予防教室などの一日体験教室も行った。
その他特筆すべき取組	警察の交通安全のポスター掲示やチラシの配布、また消防署立会いの訓練では、消火器の位置確認、営業中の状況下での訓練を行い、安全対策に取り組んだ。

## イ 市による状況分析

- ・安全研修をはじめ、指導者研修など多様な研修を実施し、スタッフの質向上へ取り組んできた。
- ・利用状況に合わせて人員配置を工夫するなどし、施設の維持管理を含め効率的に行っている。
- ・利用者特性を考慮し、大人や子供を対象とした教室に加え、高齢者の健康増進につながるイベントも実施するなど利用者満足の向上へ努めた。

## (2) 利用者サービスの向上

## ア 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定管理者名	株式会社オー ジースポーツ	株式会社オー ジースポーツ	株式会社オー ジースポーツ	株式会社COSP Aウエルネス(令 和4年7月から株 式会社オージ ースポーツより 社名変更)	株式会社 COSP Aウエル ネス
利用者数(単位:人)	511,311	348,490	304,028	407,129	—
稼働率(単位:%)	57.4	56.9	52.8	47.9	—
利用者満足度(単位:%)	73.8	74.4	77.8	75.6	—

## イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・コロナ感染状況を鑑み、ソーシャルディスタンスを保ちながら各レッスン(子供カルチャー系教室含む)の定員数を増やし、より多くの利用者が参加できる体制を整えた。 ・各エリアにおいて椅子を増設し、休憩スペース充実を図ることで利用者満足の向上に努めた。
意見・苦情・要望等への対応	ご意見BOXでは月の前半・後半で意見を回収し回答を実施、さらに回答の掲示期間を長くすることで、より多くの利用者へ対応の周知ができた。また、WEBでのご意見窓口も稼働し、幅広く要望の収集を行い対応することができた。
その他特筆すべき取組	デジタルサイネージを導入し、施設に関連する情報を効率的に発信することにより、利用者の利便性の向上に努めた。

## ウ 市による状況分析

- ・コロナ禍からの移行期間として、状況を注視しながら条件を段階的に緩和するなど感染対策と利用者満足の両立を行いながら利用促進が図られた。
- ・利用者満足度は少し低下したが、WEBでの意見の収集や、利用者からの意見を長く掲示し周知を図ることで今後の改善につなげる取組が行われた。

## 2 管理運営状況

## (3) 収支

## ア 収支状況

(単位:円)

## ■ 指定管理業務

指定管理者名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
株式会社オー ジースポーツ		株式会社オー ジースポーツ	株式会社オー ジースポーツ	株式会社オー ジースポーツ	株式会社COSPAウ エルネス(令和4年7 月から株式会社 オージースポーツ より社名変更)	株式会社 COSPAウエル ネス
収入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金	271,682,407	172,605,901	154,410,651	210,738,999	232,930,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	74,127,000	140,254,253	133,138,255	86,049,000	82,110,000
合 計		345,809,407	312,860,154	287,548,906	296,787,999	315,040,000
支出	人件費	110,795,661	107,829,058	89,585,273	98,042,636	100,964,000
	委託料	86,767,834	62,697,450	63,123,588	65,494,779	67,101,000
	総支出額に占める 委託料の割合	22.4%	18.5%	22.8%	20.3%	19.7%
	修繕費	13,951,137	20,135,903	8,860,797	14,469,043	12,192,000
	光熱水費	112,720,309	90,142,450	79,794,422	100,126,628	111,506,000
	その他	63,384,707	57,637,490	35,749,897	44,615,725	48,364,000
合 計		387,619,648	338,442,351	277,113,977	322,748,811	340,127,000
収支差額		-41,810,241	-25,582,197	10,434,929	-25,960,812	-25,087,000
(市への納付金の額)		3,240,000	3,240,000	3,240,000	3,240,000	3,240,000
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

## ■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
収 入	169,503,164	117,806,950	123,661,302	160,792,377	178,270,000
支 出	164,753,495	136,627,402	123,201,820	154,148,176	160,770,000
収支差額	4,749,669	-18,820,452	459,482	6,644,201	17,500,000
(市への納付金の額)	—	—	—	—	—

## イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数は令和元年度比80%まで回復したが、収支差額はマイナスとなった。</li> <li>年間を通して、空調及び各エリアでの節電対策を実施。</li> <li>その他収入に利用料金還付金2,486,000円を含む。</li> </ul>
------------	--

## ウ 市による状況分析

<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数は令和元年度比80%まで回復し、支出額の削減も図られたため収支差額はマイナスであるが令和元年度と比較すると改善傾向となった。</li> <li>自主事業においては、教室等の内容の充実が図られ、収支差額が大きく上昇し、令和元年度を上回った。</li> </ul>
---

## 3 目標管理、総合評価

## (1) 目標管理

## ア 仕様書で定める目標の達成状況

## ■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
有責事故発生件数	0件	0件

## ■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
スポーツ教室事業参加者数	前年度比2%増(56,578名)	前年度比27%増(71,867名)

## ■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	各年度392,000千円以上	294,301千円

## イ 市による状況分析

- ・施設内の安全対策について、必要に応じた対策を実施しており、有責でない事故等が発生した際にも迅速かつ適切に対応できている。
- ・スポーツ教室事業参加者数において、基本計画当初の目標には届かなかったが、前年度比の増加率では大きく上昇していることから、コロナの影響から回復の兆しが伺える。
- ・利用料金収入においても目標に届かなかったが、令和3年度より収入額が増加しており、指定管理者のコロナ対策と両立した各種取組が成果に寄与しているものとする。

## (2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	年間を通して、制限の無い運営が実施できた。カルチャー教室やイベントなどで利用者の増加を狙ったが、売上、利用者数ともに目標には至らなかった。しかし、いろいろな入会特典を設け、定期利用者及びスクールの在籍数は合わせて112名の増加となった。	・利用料金収入の目標は未達となったが、自主事業でターゲットを絞ったスクール等を実施し、新規利用者を獲得し、参加者から好評を得ることができた。 ・利用者意見を踏まえ、即時対応できるものは迅速に対応するなど、好評を得ていた。
今後の取組	・引き続き、施設維持管理と運営の確保を行い、紙媒体とWEBを組み合わせながら、多くの方に情報配信を行うことによって、利用者サービスのさらなる向上を図る。 ・学校、保育園などへ施設利用の提案やスクール指導を行い、会員以外での接点を持ち、地域の方々への利用促進を行う。	引き続き、適切な施設の維持管理と運営に努め、さまざまな年齢層へ向けた新たな取組の実施により、新規利用者の獲得と利用者満足度の向上に資する取組を期待する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの